

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 4 年 10 月 3 日(2022.10.3)

【公開番号】特開 2021-65669(P2021-65669A)  
【公開日】令和 3 年 4 月 30 日(2021.4.30)  
【年通号数】公開・登録公報 2021-020  
【出願番号】特願 2019-195704(P2019-195704)  
【国際特許分類】  
A 6 1 B 3/103(2006.01)  
【F I】  
A 6 1 B 3/103

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 4 年 9 月 22 日(2022.9.22)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

被検眼の眼底に測定光束を投影し、前記眼底にて前記測定光束が反射された反射光束を受光することによって、前記被検眼の光学特性を他覚的に測定する測定手段を有する検眼装置であって、

前記被検眼に付加する雲霧に関する任意の雲霧パラメータを設定可能な第 1 設定手段と

、  
前記第 1 設定手段により設定された前記任意の雲霧パラメータに基づいて、前記被検眼に前記雲霧を付加する雲霧手段と、

前記測定手段を制御し、前記雲霧手段により前記雲霧が付加された前記被検眼の前記光学特性を取得する取得手段と、

30

を備えることを特徴とする検眼装置。

【請求項 2】

請求項 1 の検眼装置において、

前記第 1 設定手段は、前記雲霧パラメータとして、前記被検眼に付加する前記雲霧の量を設定可能であることを特徴とする検眼装置。

【請求項 3】

請求項 2 の検眼装置において、

前記第 1 設定手段は、さらに、前記雲霧パラメータとして、前記被検眼に対して前記雲霧の付加を開始するタイミングから前記雲霧の付加が完了するタイミングまでの間における、雲霧時間と、雲霧速度と、の少なくともいずれかを設定可能であることを特徴とする検眼装置。

40

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれかの検眼装置において、

前記被検眼に対する前記雲霧の付加が完了するタイミングから前記光学特性の取得を開始するタイミングまで間における待機時間を設定可能な第 2 設定手段を備え、

前記取得手段は、前記雲霧手段により前記雲霧が付加された前記被検眼の前記光学特性を、前記待機時間が経過した後に取得することを特徴とする検眼装置。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれかの検眼装置において、

50

被検者に関する被検者情報を取得する被検者情報取得手段を備え、

前記第 1 設定手段は、前記被検者情報に基づいて、前記雲霧パラメータを設定することを特徴とする検眼装置。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれかの検眼装置において、

前記第 1 設定手段は、第 1 雲霧パラメータと、前記第 1 雲霧パラメータとは少なくとも一部が異なる第 2 雲霧パラメータと、を設定可能とし、

前記第 1 設定手段により前記第 1 雲霧パラメータが設定される第 1 モードと、前記第 1 設定手段により前記第 2 雲霧パラメータが設定される第 2 モードと、を切り換える切換手段を備え、

10

前記雲霧手段は、前記切換手段により切り換えられたモードに応じた前記雲霧パラメータに基づいて、前記被検眼に前記雲霧を付加することを特徴とする検眼装置。

20

30

40

50